

公益財団法人 日本膵臓病研究財団
令和7年度 事業報告書
(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

【1】概 況

当公益財団の主要事業である「膵臓病研究奨励賞助成金事業」について、社会情勢の変化により、年々法人様からの寄附金が減少傾向にあり資金確保が困難になりつつある一方で、令和7年度は個人の方から7件もの寄附を頂戴しました。そのご厚意を公益財団として国民の膵臓病克服に向けた研究に有効に活用させていただく所存です。

また膵臓病研究奨励賞応募者は減少傾向にありましたが、応募要項をより丁寧にわかりやすく改善した結果、43名もの応募をいただきました。結果は上位から16名が受賞となりましたが、受賞者は前年度より7名の増加、受賞総額も720万円増額となり、積極的な事業費の活用に努めることによって、次年度のより多くの応募につながるように配慮いたしました。

また運営体制の充実をはかるための取組として、外部理事・監事には様々な分野で経験を積まれた方を選任することで、様々な意見が当法人の運営に反映されることを期待しております。外部理事・監事の役割を全うするために、理事会前に理事会資料を提供し、事前質問が可能としております。また、理事会当日には資料を説明し、質問事項や当法人の運営に関する意見を頂く機会を設けております。さらに、理事会以外の平時であっても、当法人の運営等に関するご質問、ご意見は受け付ける体制を構築しております。

今後も次世代を担う膵臓病研究者の研究活動に少しでも貢献できれば幸いと考え、公益財団としての事業を推進してまいります。

【2】事業の状況

(1)研究助成事業

助 成 対 象： 膵臓病の病態生理、メカニズムの解明および診断・治療の研究

研究テーマ： 1) 膵臓病の病態生理に関する研究
2) 膵臓病の診断・治療に関する研究
3) 膵臓がん、膵腫瘍に関する研究
4) 膵性糖尿病、膵外分泌不全の診断・治療に関する研究

研 究 助 成： 1課題につき、50万円～100万円、年間20件以内

募 集 期 間： 毎年4月1日から9月30日まで

応 募 要 領： 当財団ホームページおよび医学関係雑誌などに公表

選 考 方 法： 理事長より委嘱された8名の選考委員が応募書類を事前に審査し、その審査結果を参考に選考委員会にて審議した

第33回(令和7年度)膵臓病研究奨励賞受賞者及び助成金総額は、以下の通り

受 賞 者 総 数： 16 名
助 成 金 総 額： 1,520 万円

記

1. 岩立 堂佑(公益財団法人朝日生命成人病研究所)
研究課題:膵癌におけるゲノム不安定性制御に着目した免疫療法強化の新戦略
2. 牧野 祐紀(国立大学法人大阪大学)
研究課題:膵癌予防を目指した膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)に対する IL-33 を標的とした新規治療開発
3. 河相 宗矩(京都大学医学部附属病院消化器内科)
研究課題:ヒト膵低分化癌・未分化癌に対する PBRM1/Vimentin 軸を標的とした治療法
4. 村上 正俊(九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科)
研究課題:膵神経内分泌腫瘍の腫瘍多様性と微小環境の解明:シングルセル解析による新規サブタイプ分類と発症・進展機構の解明
5. 中村 晃(信州大学医学部附属病院消化器内科)
研究課題:APOA2-iTQ による膵外分泌機能評価の有用性に関する研究
6. 栗田 裕介(横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学)
研究課題:小膵癌における Dual-Energy CT 遅延相造影特性の臨床的意義の前向き検討
7. 大山 博生(東京大学大学院医学系研究科消化器内科)
研究課題:膵管内乳頭粘液性腫瘍からの膵発癌における脂肪膵の関与の解明
8. 藤倉 航平(東京医科大学)
研究課題:膵癌-細菌-免疫細胞の相互作用の新たな定量分析手法の創出
9. 齋藤 圭(日本大学医学部消化器肝臓内科学分野)
研究課題:IDO/TDO 阻害による膵癌治療の薬理学的検証と臨床応用展開
10. 木村 七菜(富山大学 消化器・腫瘍・総合外科)
研究課題:膵癌における血中循環癌細胞の $\alpha 3$ 型ナトリウムポンプを標的とした治療開発
11. 小林 信(福島県立医科大学医学部基礎病理学講座)
研究課題:細胞表面タンパク質解析に基づく革新的な膵がん治療表標的分子の同定
12. 富野 高広(九州がんセンター肝胆膵外科)
研究課題:膵がんにおけるマイクロバイオーームに着目した術前栄養介入による腸内細菌叢の最適化と膵癌治療成績向上を目指す研究
13. 大本 俊介(近畿大学病院消化器内科)
研究課題:超音波内視鏡検査による早期膵癌診断における新規微細血流イメージングの有用性評価
14. 松本 諒太郎(東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野)
研究課題:AI による CT 画像膵癌自動検出システムの開発
15. 古橋 万佑子(名古屋学芸大学管理栄養学部管理栄養学科)
研究課題:酪酸による膵液分泌促進作用の解明
16. 国村 祥樹(藤田医科大学ばんだね病院外科)
研究課題:膵頭十二指腸切除術後における人工膵臓導入による術後合併症予防効果の検討

(2)学術集会等への助成事業

国内・国外の膵臓病関係の学術集会等に助成

1)第57回日本膵臓学会大会

助成金額: 100 万円

会 期: 令和8年7月24日～25日

会 場: 福岡(福岡国際会議場)

大会会長: 正宗 淳(東北大学医学部消化器内科主任教授)

(3) 寄附金募集活動

例年同様、複数の法人宛に寄附金申請を行った。
結果、令和7年度は法人から6件、個人から7件のご寄附を受け入れた。

【3】会議の開催状況

(1) 理事会

1) 令和7年度第1回理事会(令和7年5月16日／WEB 会議システム・ハイブリッド開催)

第1号議案 令和6年度事業報告、計算書類及び附属明細書の承認の件

第2号議案 理事候補者選任に関する件

第3号議案 令和7年度定時評議員会招集に関する件

2) 令和7年度第2回理事会(令和7年9月1日 書面開催)

議案 「寄附金取扱規程」および「募金目論見書」の制定について

3) 令和7年度第3回理事会(令和7年11月28日／WEB 会議システム・ハイブリッド開催)

第1号議案 令和7年度膵臓病研究奨励賞 選考結果承認の件

第2号議案 令和8年度膵臓病研究奨励賞応募要項
「研究テーマ」及び「助成金上限改定」の件

第3号議案 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

第4号議案 「印章取扱規程」改定の件

第5号議案 「個人情報保護規程」策定および施行の件

4) 令和7年度第4回理事会(書面決議 令和8年3月10日／WEB 会議システム・ハイブリッド開催)

第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算の承認の件

第2号議案 資金調達及び設備投資の見込みの件

第3号議案 学術集会助成金交付に関する件

第4号議案 当該事業年度開始の日において行う公益目的事業の種類又は内容、収益事業等の内容

第5号議案 学術集会助成金による学会におけるセミナー主催の件

第6号議案 令和8年度選考委員の件

(2) 評議員会

1) 令和7年度定時評議員会(令和7年6月9日／WEB 会議システム・ハイブリッド開催)

第1号議案 令和6年度事業報告、計算書類及び附属明細書の承認の件

第2号議案 理事候補者選任に関する件

2) 令和7年度臨時評議員会(令和7年12月5日／WEB 会議システム・ハイブリッド開催)

第1号議案 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」改定の件

(3) 選考委員会

第33回(令和7年度)膵臓病研究奨励賞選考委員会(令和7年11月4日／WEB 会議)

議題 令和7年度膵臓病研究奨励賞受賞者選考の件

審議結果:選考委員長を含め8名全員の同意で可決、承認し、結果を理事長へ答申

【4】情報公開 等

研究奨励賞研究報告書のHP掲載

第32回研究報告書(令和6年度版)

掲載開始: 令和8年4月9日

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第9条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。